

成島焼 和久井窯

業種	製造業	事業所所在地	山形県長井市	資本金	
				従業員数	1名

 	被承継者（左）	
	和久井 富二夫	89歳 ※承継時
	承継者（右）	
	和久井 修	59歳 ※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2017年1月	子ども	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
陶磁器作品の制作販売	・新販路の開拓（新たな流通ルートや直販の確立等）	経済の疲弊、デフレスパイラルによる市場の縮小やネット環境の進化による市場形態の変化が急速に進むと共に、芸術文化に対する意識の低下で作品を認める環境が著しく減少しているため、国内外での新しい市場の開拓と文化意識の向上が喫緊の課題。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
事業主である父が高齢となり、事業継承が厳しい状況となったこと。	250年の歴史ある成島焼の伝統を絶やすことなく守りながら現代に即応した感性とフォルムを表現して、生活の中に取り込んでいただける作品を制作する方向性を話し合った。	特になし。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	税務署、長井市教育委員会等の関係官庁への手続きや、山形教育庁文化財・生涯学習課、商工労働部、取引先、金融機関へのご挨拶。	特になし。
これに一番苦労した！		
特になし。		

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
その他、長井市教育委員会	被承継者である父は、山形県長井市が指定した長井市市技芸（無形文化財）保持者の認定を受けていたため、文化財保護の観点から成島焼の伝統技術の継承と事業としての成島焼の継承をどう行っていくかを具体的に示して、計画作成するサポートをいただいた。
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

海外展開による販路拡大と日本伝統工芸の底上げ

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
---------------	-------------

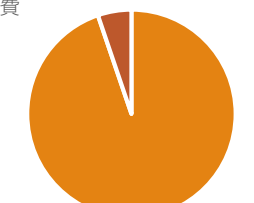
●先代である被承継者は、米沢藩の伝統工芸品である「成島焼（なるしまやき）」を10年の歳月をかけて復活させ、技術、仕様ともに現代美術作品へと再構築した。しかし、ひとつの作品の制作に要する時間は膨大で、年間を通して制作できる作品数も限られていることから価格が高額となるため、消費マインドが低迷している日本国内での販売は困難な状況であった。

●そこで、こうした状況を打開するため海外の富裕層をターゲットにシンガポールでの個展を計画した。シンガポールは、現地の富裕層に加えて中華系、ヨーロッパ系、アメリカ系など文化の異なる多様な富裕層が存在するため、日本の伝統工芸と山形県の伝統文化を広く周知する国として最適だった。

●また、2019年11月にシンガポールで開催されたイベント『DREAM OF SINGAPORE 2019』では、シンガポールを拠点に活躍する日本フラワーアーティストとのコラボレーションによる個展を実現した。多くの来場者の方々に新たな日本文化及び伝統工芸の形を世界に向けて発信できた。

●今後も、山形県をはじめとする日本の伝統工芸及び伝統文化を海外に広く発信して理解を深めていただく事で、市場拡大と売上増を目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
今回の事業継承と合わせて長井市市技芸（無形文化財）保持者の認定もいただき、ハード、ソフト両面で継承した形です。旧米沢藩（置賜地方）の歴史的、文化的な技術によって制作活動・事業を展開することで、地域の素晴らしい文化財として観光資源の一翼を担い、地域経済に寄与できるように努力したい。	<ul style="list-style-type: none"> 外注費 旅費 
	経費の主な使い道
	外注費（海外個展開催費、Webサイト制作費等） 旅費（海外移動旅費）

認定経営革新等支援機関の名称：長井商工会議所			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
特になし。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	国内では、羽田空港内などでの販売力強化。そして、海外展開では、シンガポールを中心に香港、台湾、インドネシア、マレーシア、上海、中東などでの日本の伝統工芸のすばらしさを認知していただくために個展開催を中心に各国のアーティストとコラボレーションイベントの開催を積極的に実施して理解と興味を深め、日本の伝統工芸のファン作りを推し進めることが市場の拡大につながるものと確信する。また、ホームページを各国の言語で作成して発信力を高め、イメージ戦略の充実に取り組む。
営業利益	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
世界のためコメントなし。	私の場合の事業継承は、父の高齢と体力の低下により事業存続ができなくなったことによるもので、成島焼の伝統技術を体得している者に限られていた。逆を言いますと、技術を体得しているものがいなければ、250年の歴史ある成島焼という伝統工芸は途絶えてしまう事。時代の急激な変化の中で、歴史、伝統を守りながら現代の感性を作品に表現して世界の中で生き抜くことは至難の業であるが、挑戦する価値のある重要な事。